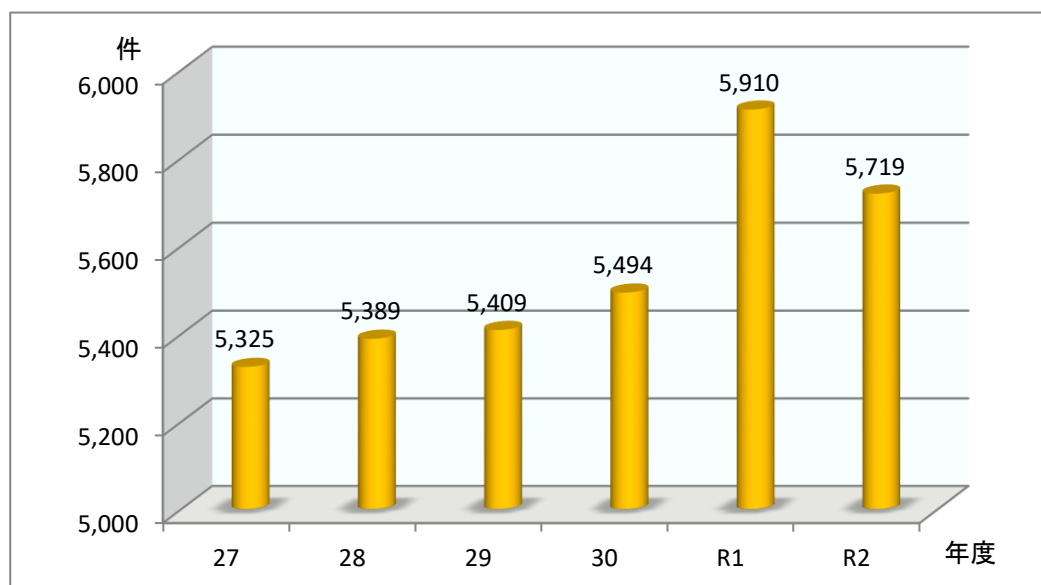


4 手術技術度DとEの手術件数

解説

単なる手術の総件数のみならず、手術の技術度による評価を加えるものです。
手術の技術度については外科系学会社会保険委員会連合(外保連)が試案として5段階で発表しています。この技術度は専門分野の学会ごとに設定されているため、他分野との直接比較はできません。そのため、全体数とはせずMDC(診断群分類)別に手術件数を評価します。
単に手術件数のみでなく、大学病院の「最後の砦」機能として、技術度の高い手術をより多く行っていることを評価するものです。

実績



自己点検評価

特定機能病院として高度な医療技術を患者に提供する役割を担っており、令和2年度には新型コロナウイルスの影響で多少落ち込んだものの、循環器内科の経皮的カテーテル心筋焼灼術、泌尿器科の前立腺悪性腫瘍手術、整形外科の関節形成手術など各分野において多くの高い技術を要する手術を行っております。また、令和元年度にはハイブリッド手術室を増設し、循環器・心臓血管外科領域においてさらなる高難度な手術を行っております。

定義

外科系学会社会保険委員会連合(外保連)「手術報酬に関する外保連試案(第9.2版)」 「内視鏡手術試案(第1.3版)」において技術度D、Eに指定されている手術の件数。
1手術で複数のKコードがある場合は、主たる手術のみの件数とします。
レセプト算定ベースで算出し、外保連試案第9.2版に準拠しています。

算式

実数